

9月 主題 「きもちがいいね」

『あなたに平和、あなたの家に平和、あなたのものすべてに平和がありますように。』

旧約聖書 サムエル記上 25章6節

「イエス様の命の風を感じながら」

秋の訪れは風と共にやって来ます。秋のさわやかな風に包まれて、子ども達の遊びは深まっていきます。このような心地よい風に触れながら、子ども達は、毎日、来月の運動会に向けて一生懸命取り組んでいます。大きなクラスの子も達は、走ったり飛んだり、あるいは踊ったりしながら、体を十分に動かしている姿がよく見られます。又、小さなクラスの子も達は、園庭でボール遊びやかっこ遊び、更には園外への散歩を通して、体力作りに励んでいます。

ところで、近年、子どもの体力低下が心配されています。「これより下がらないところまで来てしまった」とさえ報告されています。色々な運動機能だけでなく、自律神経やホルモン分泌など、無意識の内に体を調整する働きをしている機能まで低下している、と言われていています。今の生活では「体を動かして遊ぶ」ことが難しく、絶対的に不足しています。だからこそ、本園では、「からだを動かすことが楽しい」と感じられる子どもになれるように日々取り組んでいます。

ある調査報告書では、縄跳びやマラソンなどの運動を繰り返し訓練した子ども達よりも、鬼ごっこやドッジボールのようなボール遊びをしていた子ども達の方が「走ったり、跳んだりといった基本的な運動能力を身に付けていた」という結果が出たらしいのです。やはり「楽しみながら」と言うことが、子ども達の運動能力には不可欠なのです。

3歳未満児のクラスでは、実際、ドッジボールや鬼ごっこと言うわけには行きませんが、それらの遊びをもう少し大きくなってから楽しめるようになるためには、やはり小さな頃からの大人の関わりが大切になってきます。「いないいないばあ」を充分楽しめるようになると、次第に「まて、まてー」と保育者や保護者に追いかけることを楽しむようになり、そのうち逃げながらカーテンや色々なところに隠れたりするようになります。こうした遊びが、大きくなった時、本格的なかくれんぼや鬼ごっこへと繋がり、遊びを心から楽しめるようになるのです。そこには、子どもと大人との親密な関係が築かれていきます。子どもが大人に対して、どれだけ「自分のことを追いかけて欲しい。自分と関わりを築いて欲しい」と思うかに掛かっているのです。子どもと大人との親密な関係が、遊びを更に楽しくするのです。

色々なことに興味を持ち始めた子ども達は、大人が敢えて働きかけなくても、自分から色々なことをして見よう、取り組もうとする姿勢が表れてきます。それこそ、大人の期待通りのこともあれば、保育者や保護者にとっては、してほしくないことまであるかもしれません。しかし、それらは決して大人を困らせるつもりでやっているのではなく、子ども達の心に芽生えた好奇心、探究心がそうした行動に結び付いているのです。だから、そうした心の芽をつぶしてしまうことのないように、私たち大人は、色々な環境を用意して、子ども達が思う存分、探索活動が楽しめるような環境作りを大切にしなければなりません。

運動会と言う一大イベントは、子ども達の体力の向上だけでなく、子ども達の好奇心や探究心という心の芽を育む大切な時でもあります。毎日、保育者の熱心な指導のもと、子ども達は一生懸命練習に励んでいます。そうした中で、子ども達自身が、自分から目標を決めて、それに向かって取り組み「できた（自分でやった!）」と言う達成感を味わうことが出来るように、と願って止まないのです。

時には、私たち大人が、子ども達が出来なくて困っている時に手を貸すことも大切です。でも、子ども達が達成感を感じるための一番大切なポイントは、「最後の最後に子どもに任せる」、あるいは大人が手を貸す場合でも、「一緒にしながら終える」ことが大切です。極端なことを言えば、99%大人がし

たとしても、最後の1%を子どもにさせてあげれば、子どもは「自分でやった」と思えるのです。反対に、せっかく子どもが頑張っているのに、大人が待ち切れずに、最後の部分を大人がやってしまうと子どもは「自分でやった」という達成感は得られません。

この運動会に向けての取り組みを通して、子ども達には「自分でできた」と言う小さな喜びをたくさん経験して欲しいと願っています。こうした達成感の積み重ねが、子ども達の心のうちに、自己肯定感を育み、次なる行動への意欲にも繋がっていくのです。

初めに、さわやかな秋風に包まれて、子ども達の遊びは深まっていく、と言いましたが、聖書では、「風」と言う言葉の中に、「息」、「命」、「霊」と言う豊かな意味が込められています。キリスト教保育を土台とした聖愛保育園では、いつもイエス様の命の息と言う風が、子ども達一人ひとりに注がれています。例え、他のお友だちよりも出来ないことがあったり、取り組みが遅くなったりしても、一人ひとりの心の中に、イエス様の命の風が注がれて、友だち同士が支え合い、協力し合うことにより、お互いのコンプレックスを乗り越えて行くのです。いや、実は、コンプレックスを感じる場所にイエス様の命の息が注がれることにより、その子ども達の輝く個性とされているのです。

運動会の朝、子ども達の心が、豊かに輝きますようにお祈り致します。

行事予定 ㊦

◎10月 1日(木) 合同礼拝(以上児クラス)

◎10月 7日(水) 運動会実行委員会 午後7時～

◎10月10日(土) 第64回聖愛保育園運動会 於:湯布院町中央児童公園

雨天時の場合は、湯布院スポーツセンター体育館で行います。

※ 後日、運動会に関するお便りを配布致します。

◎10月13日(火) 劇団クラルテ

◎10月14日(水) 英会話(ゆり組、すずらん組)

◎10月15日(木) 避難訓練

◎10月22日(木) 合同礼拝・誕生日会

◎10月28日(水) 英会話(ゆり組、すずらん組)

○11月 4日(水) 合同礼拝(以上児クラス)

○11月 5日(木) 秋のふれ合いバス遠足

於: 県立農業文化公園(杵築市山香)

○11月 8日(日) 児童祝福式礼拝(10時15分～) ※ 日曜礼拝は、どなたでも自由に参加出来ます。

※ 保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますよう宜しくお願い致します。



㊦ お知らせ

☆ ご協力をお願いします

毎年、中央児童公園の広場で運動会の練習を行っていますが、来月10月2日(金)と5日(月)の夕方5時30分から1時間ほど公園内の草取りを致します(雨天中止)。保護者の皆さんの中で、ご協力頂ける方はクラス担任までお知らせ下さい。参加して下さる方は、軍手、スコップなどをご用意下さい。宜しくお願い致します。

☆ 11月5日(木)に、【秋のふれ合いバス遠足】を行います。今年は、大分県立農業文化公園(杵築市)に行きます。詳細については、後日、案内文書を発送致しますので、今からご予定に入れて下さいますよう宜しくお願い致します。

☆ 毎週日曜日、午前9時から9時30分まで子ども達の教会学校を行っています。静かな朝、神さまを礼拝し、神さまの愛と祝福を味わうひと時をご一緒に過ごしてみませんか。

関心のある方は、小森 牧師、黒田副園長、利光 先生までご連絡下さい。